

## 『幻聴』

作 渋谷悠

どうも私は、自分で調べないと気が済まないタチでして…。  
お医者さんからすると、私なんかが空いた時間に調べたくらいじゃ、ネットの  
にわか知識と言いますかね、見当違いな自己診断をして、かえってご迷惑をお  
かけするであろうことは、重々承知しております、はい。

(何か聞かれて)ええ。症状は主に幻聴です。  
これも色々あるみたいですねえ。私はパソコンを打つのがどうにも苦手でし、  
未だに小さい「っ」ですとか、句読点の場所ですとか、こう探しながら打つも  
ので…とにかくそんな調子ですから調べるのも時間がかかります。

一番多いのは悪口が聞こえてくるという幻聴らしいですねえ。  
お前は何もできない。死んでしまえ。苦しめ。お前は最低の人間だ。  
本当に言われているならそれだけの理由もあるんでしょうが、こればっかりは  
根も葉もない。なんせ幻聴ですから。

電磁波が聞こえる、というのもいろいろですね。何か、電波で指令が出され  
る。自分にだけ特別な使命があるような気になってしまふ。宇宙人の声、とい  
うふうに形容する人をチラホラ見かけました。

私が驚いたのは、中には楽しい音楽が聞こえる幻聴というのもあるそうです。

ご存知でしたか?……そうですよね、こりや失礼しました。  
そういう幻聴ならなんといいますか、こちらの気の持ちようでどうにか付き合  
って行けそうな気がします。何か辛いことがあっても、楽しい音楽が聞こえて  
くるわけですから、いつの間にか気分も釣られてですね…まあ、曲にもよりま  
すかねえ。毎度同じ曲となると、それは確かに、さぞかし、きついでしょうね。

(何か聞かれて)あ、私ですか? (笑って) そうですよね。自分の話をしなくては、ここに来た意味というものはありませんでした、すみません。何かに詳  
しくなるとついついそれをひけらかしたくなってしまうんですね。

私は、普通の人間ですので、幻聴も普通です。

悪口が聞こえてくるタイプです。

(内容を聞かれ) いえ本当に、先ほど申し上げたような、なんの変哲もない、  
死んでしまえ、お前は最低の人間だ、えー最近では、お前なんか産むんじやな  
かった、ですとか…。

はい？あ、ええ、そうですそうです。聞こえるのは母の声なんですね。  
だからというわけでも無いでしょうが、幻聴だとハッキリ分かるんですね。母  
は10年程前に、亡くなりましたので。文句を言わない、優しい人でした。  
母は悪口が嫌いでしてね、口のきき方には、それはもう厳しく、厳しくしつけ  
られたものでしたよ。  
そんな母の声で、馬鹿野郎、線路に飛び込んでしまえなんて聞こえてくるわけ  
ですから皮肉なものです。  
母の思い出が、優しかった母の記憶そのものが、蝕まれていくんです。そういう  
人だったような気がしてくるんです。  
ええ……はい……そうらしいですね。ちなみに、そういう薬が効いた場合、母  
の声は完全に聞こえなくなるのでしょうか？  
……そうですか。  
先生、妙なことをお尋ねしますが、幻聴が気にならなくなる薬なんてありません  
よね？私のこれじゃ（タイプする仕草）見つかりませんで。何を言われても  
平気になる薬ですとか…。  
(怪訝な顔をされるので) いえね、幻聴が始まる前は、母の声を思い出せなく  
なっていたんです。  
でも今はハッキリ聞こえるんです。母の声です。  
(涙をこらえて) 懐かしくて……。嬉しくて……。  
酷いことしか言ってくれないんですが、私は、この声を消したいとは思いませ  
ん。ですから先生、そんな薬はありませんか？